

本時のねらい

- ・「手塚治虫」の伝記の学習で学んだことをいかして、自分で「めあて」を設定しながら、探究的に学ぶ。
- ・自分と偉人との共通点や相違点を見つけ、多角的に人物像をとらえなおし、生活に生きて働く考え方や独創的な考え方を見出す。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・デジタルで子どもたちに配付している思考ツールや Google スライドを活用して、伝記やインターネットから集めた偉人の情報を、整理したり分析したりする。
- ・Google スプレッドシートを活用し、「めあて」や「ふり返し」を共有し、学びの個性化や協働化を図るとともに、子どもたち一人ひとりが、前回の学びから「めあて」を設定するなど、探究的に学ぶことをねらいとしている。

本時で育む主な情報活用能力

F-STEP 3, J-STEP 4
A-STEP 3, B-STEP 3

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・クロームブック
- ・Google スライド
- ・思考ツール（デジタル配付）
- ・Google スプレッドシート

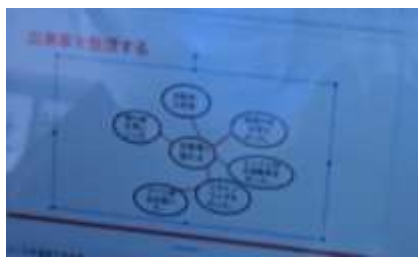
本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	・パフォーマンス課題を確認する。 「伝記に描かれている人物の生き方について学び、自分の考えを書こう。」 ・「学習のめあて」を設定する。前時の活動やスプレッドシートをふり返し、本時のめあてを一人ひとりが考える。 【写真 1】	・スプレッドシートを活用することで、これまでの学習を容易にふり返ることができる。また、友だちの考えも参考にしやすくなり、「学習のめあて」が設定しやすくなる。
展開 (35 分)	・自分が設定した活動に取り組む。 ①事前に子どもたちがそれぞれ選んだ「伝記」を読む。 ②人物の考えや生き方につながる出来事を読み取る。 ③人物の考え方や生き方をとらえる。 ④人物の考え方、生き方について自分の考えを書く。 ・インターネットから必要な情報を集める。 【写真 2】	・Google クラウドスライドを活用して、スライドを共有し、それぞれの学びのヒントとなるようにした。 ・スライドを活用して、情報の整理やまとめる活動を行い、学習の個性化を図れるようにした。
まとめ (5 分)	・今日の学習のふり返しをスプレッドシートに書く。 【写真 3】	・スプレッドシートを活用することで、学びの経過が保存され、単元を通じて、いつでも確認することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】
スプレッドシートに本時の「めあて」を入力する。



【写真 2】
伝記を読み取り、スライドや思考ツールを活用して、情報を整理している。



【写真 3】
スプレッドシートに「ふり返し」を入力する。

児童生徒の反応や変容

- ・スプレッドシートを活用して「めあて」や「ふり返し」を共有することによって、自然と協働的な学びが生まれ、一斉で行う授業よりも、意欲的に取り組める子どもが増えたように感じる。
- ・一斉授業だと文章を読むことを諦めてしまう子どもも、自分で選んだ教材なので、文章を読むことに進んで取り組む様子が見られた。
- ・スライドを活用して情報を整理するときに、デジタルで配付している思考ツールを活用し、学びを深めることができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・一人ひとりの学びを見取るため、また、「めあて」や「ふり返し」を共有するために、スプレッドシートの活用は効果的だと考える。
- ・子どもも授業者も、その場で「めあて」や「ふり返し」など、クラス全体の学びのようすや進捗状況などを共有・確認できるので、子どもたちが協働的に学んだり、授業者がその子に合った声かけや手立てを行ったりできたと感じている。